



令和 4 年 2 月 1 日
社会福祉法人 宝安寺社会事業部

独立行政法人 日本学生支援機構が発行する 「ソーシャルボンド」への投資について

社会福祉法人 宝安寺社会事業部（理事長：大水 健晴、以下「当法人」という）は、このたび、独立行政法人 日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第 66 回 日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債券は、ICMA(International Capital Market Association/国際資本市場協会)が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的な ESG 評価機関であるヴィジオアイリス (Vigeo Eiris・フランス) からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第 26 条や教育基本法第 4 条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標 (SDGs)⁽²⁾の内、目標 4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当法人は、本債券への投資や日々の社会福祉の実践を通じて持続可能な社会の形成に貢献する取り組みを継続し、今後も社会的責任を果たして参ります。

<本債券の概要>

銘 柄	第 66 回 日本学生支援債券
年 限	2 年
発行額	300 億円
発行日	令和 4 年 2 月 8 日

(1) ESG とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

(2) 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015 年 9 月の国連持続可能な開発サミットにて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」が掲げる、加盟各国が 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 のターゲットのこと

以上